

特色ある病院でファン増やす



五反田病院 理事長・院長
五反田 清和氏

日田市中心部で、整形外科、消化器診療を軸に、総合的な医療を実践している。デイケア施設、住宅型有料老人ホーム、メディカルフィットネスジムなども併設する。病院経営は「医療、介護、食、予防」を4本柱に掲げ、「病院を中心に地域の人が快適かつ安心して暮らせるスモールコミュニティを実現したい」と語る。

外傷や人工関節手術にも対応。近年は前十字靱帯再建術や半月板縫合術が増加している。消化器診療は弟で副院長の幸人氏らが担当。胃カメラ、大腸カメラによる検査と早期治療、マンモグラフィによる乳がん検診などに取り組む。保険外診療になるが、人間ドックの重要性を「多くの人に伝えたい」と考える。「病院は人で成り立っている」との思いから、昨年は「職員同士、職員と患者さん、患

病院DATA

●診療科目

整形外科、外科、内科、消化器内科、胃腸内科、胃腸外科、大腸外科、肛門外科、小児外科、リハビリテーション科、形成外科、麻酔科（五反田由貴・赤松良彦）
人間ドック Aコース（半日）：3万、Bコース（半日）：5万
Cコース（1日）：7万、Dコース（1日）：9万

●診療時間

月～金／8:30～12:30、13:30～17:30 土／8:30～12:30

●休診日

日曜、祝日、土曜午後、お盆（8月14、15日）・年末年始（12月31日～1月3日）



医療・介護・食・予防と包括的に地域を支える

者さん同士の交流の機会を意図的に増やした。いい意味での摩擦が起きることを期待した」と振り返る。成果の一つが、職員の発案で始まったマルシェだ。農家の患者らが、自ら育てた野菜を持ち寄り販売する取り組みで、「病院と地域をつなぐ場」として定着しつつある」と喜ぶ。広報活動にも力を入れ、昨年9月から専属スタッフを配置してインスタグラムを毎日更新。職員が働く姿や病院の日常を発信している。「フォローを増やすことが

目的ではなく、職員同士の会話のきっかけづくりや、互いの業務への理解促進につなげたい」と説明する。働きやすい環境づくりにも取り組み、戸建てをリフォームした職員専用の休憩所「和館」を設けた。職員たちには午後5時半の退勤を徹底し、ワークライフバランスの向上を図っている。「特色ある病院を育てていきたい。常にチャレンジし続け、院内外に五反田病院のファンを増やすことを目指していく」と今後の展望を語った。

